

中古品買い取り店で、自分の老後や死後に備える「終活」利用が目立ってきた。以前から故人の家族が遺品整理で利用する例は多かったが、終活の定着に伴い気軽に利用する人が増えてきた。終活をきっかけにフリマアプリを活用するシニアも出てきた。持ち物を整理するだけでなく、残りの人生を充実させる第一歩と前向きに捉える人が多いようだ。

老後などに備え持ち物整理

中古品買い取り 「終活」利用進む



着物や骨董品を売る人が多い（東京都中央区のザ・ゴールド銀座店）

「2年ほど前から終活の一環で店を訪れる人が増えてきた」。中古品買取り・オークション事業を手掛けるマックススガイホールディングス（東京・中央）の買取り専

門店「ザ・ゴールド銀座店」の青山俊裕氏はこう指摘する。買い取り全体の3割が遺品整理か終活目的だという。

「着物や骨董品、アクセサリーを売る人が多い」（青山氏）。1人あたりの平均買取り価格は全体の平均と大きく変わらないが、長年コレクションしてきた高級時計20点などで総額数千万円を売った人もいたとい

う。50点を売った山下則子さんは（71）は「物の処分をどうするかは友人とよく話す」と語る。山下さんの場合、買い取り総額は約30万円になった。「何に使うかは考え中。他のものも売ってみようかしら」と笑みを浮かべる。